

# 拉致問題ニュース

## 拉致被害者・特定失踪者が集中する疑惑の旅路

### 大町ルート

千葉県のパ洋洋沿岸に近い海上町周辺から

東京→山梨県甲府→長野県大町を抜けて日本海側の新潟・富山へ通じる道筋がある。

田口八重子さん・横田めぐみさん・地村・蓮池ご夫妻、

そして特定失踪者：藤田進さんの拉致もこのルート上で起きている。



特定失踪者問題調査会の報告によれば、特定失踪者 420 人中、120 人が集中している。

大町ルートの起点となる、千葉県旭市には、戦前から多くの在日朝鮮人がおり、砂鉄と水あめの一大生産地でもあった。砂鉄と水あめは北朝鮮へと輸出され、この大町ルートを通して日本海側の新潟・富山から北朝鮮へと運ばれた。

北朝鮮国内で、砂鉄は鉄鋼の原料、水あめは焼酎の味付けに必要なだったのである。

調査会ニュース Vol.187(2004.10.23) 執筆：真鍋貞樹氏 より抜粋

救う会埼玉では、毎月第 2 日曜日、14 時～16 時まで浦和駅西口伊勢丹デパート前・東口駅前にて政府に拉致被害者救出に積極的に動いてもらうよう国民の声を届ける為の署名活動を行っております。

初めての方でも気軽にご参加いただけます。短時間でも結構です。一度いらしてください。

ご参加お待ちしております。青い幟が目印です。



(特定失踪者：高野清文さんの妹 高野美幸さん作成)

日本海側でなくても、これだけの人達が北朝鮮の関与が濃厚な 『謎の失踪』 をしている  
失踪者には、出身校・出身地域・職種など、驚くほどの共通点がある  
関西地方の某有名大学では、教授に元北朝鮮工作員とされる人物が在籍し、  
5年ごとに卒業生が失踪している。特定失踪者問題はドラマの世界の話ではない！

拉致問題解決の為に、あなたにもできることがあります

拉致問題を知ってください 知ったことを知らないでいる人に伝えてください

ブルーリボンをバッグ・帽子・洋服などにつけてください 拉致問題のアピールになります

ブルーリボンの青は、被害者と家族を隔てる日本海の青 被害者と家族を結ぶ空の青 です